

ゆいま～る

生涯学習＆
ボランティア情報誌



7月号

令和7年度 ボランティア講座を開催しました！

令和7年5月25日（日）に光市ボランティア連絡協議会と光市社会福祉協議会の共催でボランティア講座が開催され、47名の方が参加されました。

周南公立大学 人間健康科学部 福祉学科 准教授 牛島豊広氏による「ボランティア活動のススメ」と題した講演が行われ、ボランティア活動の意義や、これからボランティア活動を始め方へメッセージを伝えて下さいました。参加者の方からは、「身近な地域の課題に、住民の1人として関わることができました」「ボランティアについて今までボランティアをしたいと思うだけで、考えたことがなかったが、改めて知れてよかった」などの感想がありました。



講演後は、ボランティア連絡協議会登録団体によるボランティアお試し体験会を行いました。音訳こだまの会さんによる音訳体験、点訳光の会、六点会さんによる点字体験、光紙芝居さんによる紙芝居体験、老人クラブさんによるスクエアステップ体験、光ピンフレンズ、ひかりエコメイトさんの活動紹介がありました。参加者からは、「初めて点字をしてみて、意外とはまりました！」「身体を動かしながら楽しく運動できました！」などの感想があり、様々なボランティアを体験する貴重な機会となりました。



音訳体験 🎵



スクエアステップ体験 🚶



紙芝居体験 📖

光井小学校にて福祉体験教室を行いました！

令和7年6月3日（火）、12日（木）に光市立光井小学校で福祉体験教室（車いす・アイマス・疑似体験）を行いました。子どもたちは車いすを利用している方、目に不自由がある方、高齢者の身体の機能や心の変化を実際に体験することで、普段の生活の中で、支援を必要としている人の気持ちを理解し、相手の立場に立って考える大切さを学びました。光市社会福祉協議会では、福祉体験教室を随時開催しています。

～体験を通して感じたこと～

- ・障害物をこえる時、怖かった、ハラハラした。思ったより力がある。
- ・どれも介助者が必要。点字は視覚障害者にとっても役立つ。
- ・重りをつけると動きにくく感じた。椅子に座るとき不安だった。



車いすに乗ったら
ブレーキの確認！
段差をこえる時は
ゆっくり慎重に…

介助者の肘をもって
ゆっくり歩こう！
どこに何があるか分
かりやすく伝えよう



視野が狭くなると、歩
きににくく、文字が見え
にくかったり色が違っ
て見えたりするんだね

問合せ・お申込み：光市社会福祉協議会・光市ボランティアセンター事務局
電話：0833-74-3020
メール：v-center@hikari-shakyo.or.jp